

## 【山形村】 校務DX計画

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	-	-	-	100%	-
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	100%	-	-	-	-
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	-	100%	-	-	-
選択項目	1.児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受けつけ、学校内で集計している学校の割合	100%	-	-	-	-
	3.学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信している学校の割合	100%	-	-	-	-
	9.1人1台端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭で利用できるようにしている学校の割合	100%	-	-	-	-
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用スキルに差異が生じていることにより、授業内容にも差異が生じている。</li> <li>教職員の異動により、スキルが高かった教職員の業務を引き継いだ新任者に負担がかかり、プレッシャーを感じる場合が見受けられる。</li> <li>公費会計書類について、自治体の財務規則上押印が必要であるため、学校で事務処理する際も廃止とすることができない。</li> </ul>				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT支援員や学校情報担当職員との連携をこれまで以上に緊密とする。</li> <li>行政側の担当職員のスキルアップをはかる。</li> <li>近隣市町村との連携を推進する。</li> </ul>				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育長と校長懇談による検討、それに応じた計画立案。</li> </ul>				